

さくら第503号

令和 3年11月

さくら

発行所 さくらそろばん
 発行者 平瀬重雄
 春江町境 17-7: TEL51-1337
 hirase@mx2.fctv.ne.jp

日 日 是 好 日
 かつても
 てつても
 日 日 日 好 日
 泣いてもわらっても
 きょうが
 一番いい日
 わたしの一生の中の
 大事な一日だ
 から

『コンクールは自分との競争』

4月1日が誕生日の人と4月2日が誕生日の人とでは学年が一つ違います。たった1日の違いですが1年間になるような大きな違いになります。同じ学年でも4月にそろばんを習い始めた人と翌年3月から始めた人とはこれまた違います。学年は同じでもいろんなところで開きがあります。

ところで、さくらそろばんでは毎月2回、教室内で「そろばんコンクール」を行い、どちらか点数のよいほうで学年ごとの成績を発表しています。しかし、学年ごとでは上記のような違いが出るので、「連続アップ」という方法でも成績を表すようにしてもう30年になります。

学年や、合格級や段位に関係なく、前の月より4種目の合計点数が5点でもアップした皆さんを連続アップとし、5ヶ月以上の連続アップ者を年度終わりの3月に集計して「号外」という方法で成績一覧を作成し、達成者にはプロフィールと入賞者一覧写真をわたしています。

その中で、最高連続アップ者を「連続アップ大賞」としてクローズアップします。

毎年の最高連続アップ者の一覧表を2頁と3頁に掲載しています。過去最高は、1995年・平成7年度の岡 政二郎君で15ヶ月連続でした。2番目は1992年・平成4年度の西畑貴史君で14ヶ月でした。

毎月、毎月、連続アップするにはふだんの練習を休まず、根気よく、体調がすぐれず気分が乗らない時でもがんばるよう、自分で気持ちをリフレッシュし高めていくしか方法はありません。調子が悪い時でも逃げずにひたすら続

けるのです。

連続10ヶ月ごろに二人のお母さんに「連続アップが続いていますが家で何か話していますか？」と伺うと、もうダメだ。コンクールになると毎月が怖くて疲れるなどと話したそうです。

競争には他人との競争と、自分との根競べがあります。競技大会では優勝や入賞めざして競争しますが、自分より上手い選手がいても、当日、何かの都合で欠席したり、体調が悪く力を発揮できないこともあります。

しかし、そろばんコンクールは毎月必ず行ない、学年ごとの規定の点数によって順位は決まりますが、連続アップは点数の高い低いに関係なく、自分の成績を前の月より5点でもアップさせればいいのです。

これは、他人との競争もありますが自分との競争なのです。誰しも調子のよい日とそうでない日があります。やる気のおきない時もありますが、目の前の問題に全力で取り組むしかないので。いろんな言い訳は通用しません。

ちなみに学年ごとの成績表は次の基準になっています。2年生以下は100点以上、3年生は200点以上、4年生は300点以上、5年生は400点以上、6年生は500点以上、中学生以上は600点以上で成績順位が決まります。

しかし、連続アップは違います。学年、習い始めた時期、合格級などに関係なく、いかにして前の月よりアップさせるかです。自分であきらめては前に進みません。

中学、高校、大学、そして社会人となって仕事を続けるなかでいろんな困難や障害に遭遇します。そんな時に心の支えになるのは自分で自分の心を奮い立たせ、前に向かって突き進む強い心です。あきらめてはそこで終わります。人と比べるのも必要ですが、何といっても自分のレベルアップです。

そのためには、小さな成功体験を多く積むことです。検定に合格した時の満足感もその一つです。力いっぱい一生懸命に努力することから強い気持ちとやる気がわきます。自分からあきらめないことです。